

CONTENTS COMBAT

2016.Oct.
No.487

10

Cover Design
Favorite Graphics Inc.
Cover Photo Tomoyuki Orimoto
Cover Girl Fight!! Piccholina ☆
Coordinate Ken Koga
©WORLD PHOTO PRESS 2016
※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



012 【第1特集/サバイバルゲーム】 I♥SG サバゲ大好き! Hurray for the Survival Game Lovers

014 サバゲ回顧録

018 HITするためのテクニック集

030 フィールド別テクニック&装備集
Paradox / Battle Spot / Tokyo
Sabage Park / taap / TAF ZONE

050 Sabage Lovers Only
8組のエンスージアストたちが語る「サバゲの歩き方」

068 サバゲガールズ装備図鑑
片山サキ/茶々元真央/市原佑梨/戦え!! ぴっちょりーな☆

076 サバゲがゆるアニメ化?「サバパラ」始動!

078 サバゲ基礎知識

080 サバゲ装備メンテナンス講座

086 特選サバゲフィールド

184 全国サバゲフィールドガイド

188 スピンオフ企画!
昭和男必見! 現用サバゲ装備!

190 編集長日誌 サバゲ編



004 COMBAT FRONT LINE
速報!
東京マルイ
BIOHAZARD 20th ANNIVERSARY
SAMURAI EDGE
<SPECIAL COLOR VARIATION>

088 ニッポンの力こぶ ●菊池雅之

092 The Equipments of the U.S. Force
【現用米軍装備カタログ】
第144回Crye Precision特集Part.2
●解説:松原隆 ●撮影:山崎 学

100 兵装嗜癡 ●by fujiwara

102 WESTERN ARMS
『世田谷ベース・モデル第6弾!!』
1056 BUNTLINE SPECIAL
●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

106 WESTERN ARMS
SALIENT ARMS
HI-CAPACITY SERIES
●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

112 THE WORLD OF LITTLE ARMORY
第1回「リトルアーモリー、どうでしょう?」

116 ミリいじ技研

117 Militaria Roundup!
帝国日本陸軍の軍服と装備 Part.2
●解説:菊月俊之

128 PRESENT

146 世界最大級の国際防衛装備品展示会
Eurosatory 2016
●レポート:清谷信一(Shinichi Kiyotani)

152 Goods & Accessory

158 PROJECT NINJA ●morizo(東京装備BAKA)

160 NEW GENERATION STYLER ●fujiwara

170 WANCHER'S STYLE ●織本知之

172 サバゲ三等兵 ●by 織本知之

212 トイガンニュース

212 WA リプロダクション・シリーズ

214 タナカ S&W M360SC .357マグナム

215 タナカ コルト・コンバット・パイソン 3インチ「Rモデル」HW

215 タナカ S&W M500 PC 10.5インチ(Ver.2ステンレス)

216 中田商店グッズ

218 S&Grafグッズ

129 GAME OVER THE TOP

132 サバゲ三等兵APS編

136 射撃のススメ特別篇「APS本大会レポート」

140 トイガンズ・ジャンクション

191 ザ・ビクトリーショー

193 バックナンバーリスト

194 ミリタリー・コレクション

196 レア・ミリタリー・コレクション

198 A STITCH IN TIME

199 ジャパンスチールチャレンジ

200 狩野健一郎のシネマ放浪記

201 狩野健一郎の新作DVD紹介

202 蛙のゆびさき

204 戦車兵通信 WORLD OF TANKS

206 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

207 読者プレゼント応募方法

208 編集後記





速報 BIOHAZARD 20th ANNIVERSARY
本誌独占!!

SAMURAI EDGE

<SPECIAL COLOR VARIATION>

TOKYO MARUI

●東京マルイ ☎03-3605-3312
<http://www.tokyo-marui.co.jp/>
Photos&Text by Taku



カプコンの大人気ゲーム『バイオハザード』の発売から
20周年を記念して製作された
特別限定サムライエッジのカラーバージョンが登場!!

I LOVE
SG
サバゲ大好き!

[特集]

エアソフトガンは手に入れた?
装備、揃えた?
あつたら最高だけどさ、
ここだけの話、なくたってなんとかなる。
そんなこと、みんな、知ってるよな。
ほんの少しのルールとマナーを覚えて、
あとは、フィールドを駆け巡る。
場所や天気や一緒にやる仲間たちに応じながら、
自分が一番楽しいと感じるやり方で。

HURRAY FOR THE SURVIVAL GAME LOVERS!!

シンプルに行こう。好きなんだろ?
勝負に徹してもいいし、格好をつけてもいい。
どっちも楽しんだって、いい。深掘りできる。
Hey Dudes、本気で遊ぼうぜ!

サバゲLOVERSのための大特集



サバゲ回顧録

～小峯隆生とtakuが振り返るサバイバルゲームの歴史～

日本におけるサバイバルゲームの普及に貢献した人は何人かいるが、その中でいまでも現役として活躍している数少ないひとりが小峯隆生さんだ。創世記の日本のサバイバルゲームを語る上で彼の存在は欠かす事が出来ない。モデルガン全盛の時代にコンバットゲームという新しい遊び方を提案するなど、業界への貢献度は図り切れない。今回は、日本でモデルガンの時代からサバイバルゲームがメジャーになるまでのハナシを小峯さんの話を軸にまとめてみた。

●Construct: 小林 拓

最初はモデルガンで「コンバットゲーム」をやっていた

——早速ですが、小峯さんがサバイバルゲームをはじめるといった経緯を教えてくださいませんか？

小峯：当初はエアソフトガンではなく、モデルガンを使った「コンバットゲーム」と名付けた遊び方で主に遊んでいた。これは、モデルガンを使っただけの戦争ゴッコなんだけど、そこから一歩進んで、現在のサバイバルゲームのようにヒット判定を設けてみたんだ。ルールは単純で「敵のマズルフラッシュを確認すれば負け」または「敵の後

ろに回り込んで『動くな!!』とコール出来れば勝ち」というもの。このシンプルなルールを作って楽しんでいう事を、当時のコンバットマガジンの読者欄に投稿して掲載されたんだ。それを面白いと思ってくれた当時の編集部とハナシが進んでいたところに、JACというメーカーから画期的なメカニズムを搭載したモデルガン用のシューティングデバイス「スナイパーF1」が発売された。とにかく、これはセンセーショナルだったね。何しろ弾の出ないモデルガンでも当たり判定がシッカリしているんだから。

このシステムは、モデルガンのカートリッジの代わりにカメラのストロボに使用するフラッシュバルブを搭載したモノで、いわゆる光線銃のハシリのようなモデルだった。残念ながら、このモデルの反応はイマイチだったようで、いつの間にか消えてしまったんだけど、これをキッカケに、コクサイの「スーパーウェポン」やマルシンの「シューティングデバイス」といった、モデルガンとエアソフトガンが合体したようなモデルが続々と発売されたんだけど、どれもイマイチ流行らなかったのを覚えている。そんな時にコンバットマガジンの

83年5月号でペイントガンを使用したサバイバルゲームという新しい遊びがあるという情報が掲載されたんだ。我々マニアは色めき立ったよ。

さらに84年の1月号で愛知県のサカエヤからサバイバルゲーム専用のゴーグルが発売された(筆者注:当時は工業用のゴーグルなどを転用していたから画期的なハナシだった)。それを使ってエアソフトガンを使用したサバイバルゲームを行なっているという記事が掲載されたのを見て「コレだ!!」って思って、当時勤めていた週刊プレイボーイ誌のカメラマンと、仲間の3Kスワットを引き連れて名古屋へ行って、サバイバルゲームに参加した。

当時、サカエヤで行なっていたサバイバルゲームはナイトゲームがメイン。夜中になると店に集まったメンバーで近くの公園まで車で行き、サバイバルゲームをはじめるといったものだった。基本的な部分は今も昔も変わらないんだけど、違うのはヒットコールがないという点だったかな。ヒットされたら無言で両手を上げてフィールドから退場する。この動作を見て「カッコいい!!」って、一発でサバイバルゲームの魅力に惹き込まれてしまったんだ。これが本格的なサバゲデビューになるかな。サバゲがスゲーって事は判ったし、ゴーグルも買い込んできたので、あと

は始めるだけって時に、ある雑誌の企画で、モデルガンやエアソフトガンを使って冒険小説を絡めたフォトストーリーを作る事になって、ダムへ撮影に行った際に、そのメンバーでサバゲをはじめようになった。

はじめると言っても、4人なので2対2や3対1、バトルロイヤルなどをやってたんだけど、そんな時にサカエヤさんから関東でもサバイバルゲームをやっているところがあるという情報ももらって、そこに行って参加するようになったね。

当時は専用のゲームフィールドもなくて、やるのは河川敷や山の中が定番で、近くには何も無いような場所ばかりだったな。とにかく何にもないので、全て用意して行かなくちゃならない。

幸いな事に、キャンプが趣味だったのでそういった道具には困らなかった。食事だって今みたいにコンビニがそこら中にあるわけじゃないので、自分で用意して行かなくちゃならない。当時乗ってたハイラックスの荷台に水のタンクなんか積み込んで、食事はレーションなんかを食べるとかしていたかな。それはそれで気分が出て楽しかったんだよ。

'80年代に一気に流行ったサバイバルゲーム

——当時はどのようなエアソフトガンをお使いだったんですか。
小峯：当時のエアソフトガンといえば、エアコッキングガンしかなくて、しかもライブカートリッジ式が主流。パワ



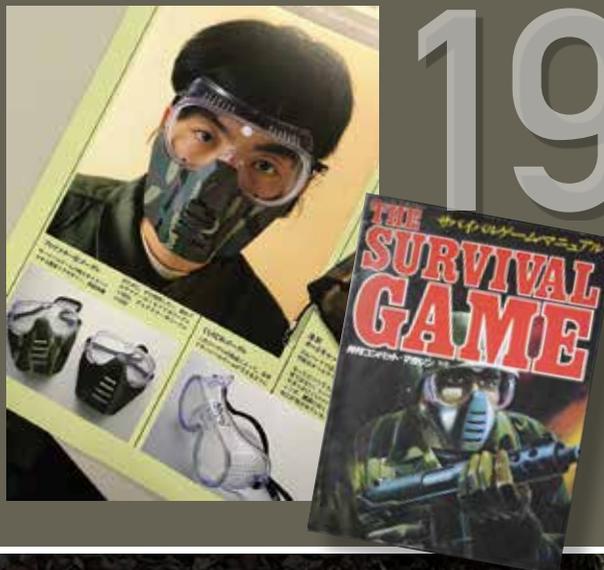
小峯隆生：ライター、編集者、サバイバルゲームマニアとしても長年のキャリアを誇る。大学卒業後、外資系企業のサラリーマンを経て『週刊プレイボーイ』の編集者、ニッポン放送の「オールナイト・ニッポン」のDJなどで活躍。ジェームズ・キャメロン監督の『ターミネーター2』にも出演した。著書にモデルガンまみれの少年時代を描いた『少年玩具』(角川学芸出版)、元アメリカ陸軍大尉の飯柴智亮氏にインタビューした『2020年日本から米軍はいなくなる』(講談社)、サバゲに関する書籍も手がける。小誌でも『拳銃王』をはじめ連載を長く持っていた。2015年に書いた『いちばんやさしいサバゲ入門』(飛鳥新社)はゲーマーから高い評価を得ている。

1983



コンバットマガジン5月号で、イチロー・ナガタ氏によって米で流行のペイントボールによる「SURVIVOR GAME」が紹介される。記事によると「サバイバルゲームが始まったのは、去年のことだった。ニュー・ハンプシャーの森の中で、3人の男が、ネル・スポットというGUNで撃ち合い、誰が最後まで生き残れるかなどという、ガキっぽい遊びから始まった」とある。それがまたたく間に海兵隊やボリスのトレーニングにまで採用された、そのゲームの実際を20ページで紹介。それまではモデルガンを使った「コンバットゲーム」が行なわれていた日本に衝撃を持って迎えられた。

1984



愛知県のショップから、サバイバルゲーム専用のゴーグルが発売される。工業用のゴーグルなどを転用していた時代だけに、その後多くのメーカーから発売されるようになる。当時は関東など全国で同時発生的にサバイバルゲームが開催されるようになる。ちなみに画像の出展は1985年発行の『コンバットマガジン別冊 サバイバルゲーム・マニュアル』。



HOW TO **HIT!!!** “ヒット!”の極意

相手に気付かれず接近し、
正しく狙って、正確に“Hit(当てる)”する!
サバゲ“先手必勝!”のセオリー。
●Photos&Text: Tomo Hasegawa

EQUIPMENT & TECHNIC for EACH FIELD

フィールド別装備&テクニック集

サバゲの装備や技術は、場所によって異なってくる。
ここでは5つのジャンルに分けて、
それぞれの代表的なフィールドに様々な「ここで生きる」を覚えてもらった!

森林系フィールド PARADOX

ひっ、広過ぎる!
千葉県内No.1の面積を
誇る森林フィールド!

一部好事家の間から生温かい支持を得ている本誌サバゲチーム「サバゲ三等兵」が、嬉し恥ずかしサバゲデビューを当地でさせて頂いたという因縁から、以後無許可でホームフィールドに認定し、事ある毎にちょくちょくお世話になっているPARADOXさんは、千葉県内随一の広大な面積を誇るアウトドア系フィールドである。最大高低差が30mもあるという森林フィールドは、甚だ起伏に富み、いや、寧ろ平地を見つづける方が困難なことから、常連のお客様の中には最大限の愛情を込めてこう呼ぶ人もあるという……「鬼畜フィールド」と。フィールドマスターの久場さんは、見つけて狙って撃つ楽しさの追求者で、フィールド内では特に「指切り(フルオート射撃でダダダダダ……と引き金を引きっぱなしにしない) マナーの徹底が成されている。銃を含め装備一式の貸し出しは勿論、ゲーム前には初心者講習会を開いてくれるので、初心者の方も安心して遊びに行っても大丈夫。



1 フィールド入り口



受付と駐車場から道1本隔てた場所にあるフィールドの入口。

2 フィールド1:高低差



ゲームを重ね疲労が蓄積したゲーマーならきっと軽い絶望感を味わうに違いないこの高低差!

3 フィールド2:鬱蒼



この鬱蒼としたブッシュを味方に見えるか否かが生存の鍵を握る。

4 フィールド3:竹林



虎が飛び出て来そうな竹林である。

5 MAP



ゲームの前にはホワイトボードを使ってフリーフィングが行われる。

FIELD DATA

サバイバルゲーム
フィールド
パラドックス

千葉県君津市大鷲新田3
Tel. 0439-29-6433
9:00~17:00
www.paradoxjp.com



KUBA
STYLE

MORINAGA
STYLE

森林フィールドではスコープは勿論、ブースター(マグニファイア=ドットサイト用拡大照準機)も索敵に有効。

EQUIPMENT

PARADOXの森林フィールドには断然迷彩柄のBDUが溶け込む。向かって左の久場さんはA-TACS、右の森永さんはマルチカム迷彩だ。その他定番のウッドランドは勿論タイガーストライプなんていうのも気分だ。2人共敢えてチェストリグやプレートキャリアを着けないのは「ヒットを拾い易いようにするため」だ。

PRIMARY WEAPON



2人のプライマリー・ウェポン選びの基準は「藪を抜けるかどうか」。そこで久場さんはH&K MP5 SD6とMC51 (G3) を組み合わせたようなカスタムガンを、森永さんは東京マルイのDEVGRUカスタム HK416Dのカスタムガンをチョイス。

BOOTS



平坦な場所を探す方が難しいここでは、足首のねじれ防止のため6インチ以上のハイカットブーツを推奨する。おふたりは共にベイツ製。

PADBELT BACKSTYLE

久場さんのパッドベルト裏。無線とダンブローチから覗く緑のピブスはフィールドマスターの印。注目すべきはセカンダリー・ウェポンのハイキャパに結ばれたランヤード。紛失防止用で、ゲーム中に落としたが最後まで見つけられずらい森林フィールドならではの生きる装備だ。



“8組のエンスージアストたちが語る「サバゲの楽しさ」”

装備が好き、ゲームが好き、話をするのが好き……。

サバゲの楽しみ方は100人いれば100通りある。

ならば、と、ミリタリー業界の気になる方々に「サバゲ」を語ってもらいました。

どこから切り取っても面白い。コク深いサバゲワールドへようこそ!

SABABAGE
LOVERS
ONLY



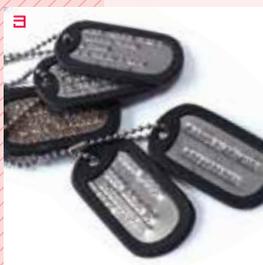
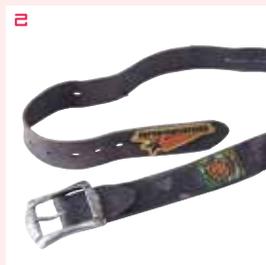


東京マルイP90ベースのPOPな「びっちょカスタム」は彼女の分身であり相棒としてもはや有名。



SANSEIのフェイスマスクにイヤーガードを装着、オリジナルの弾丸プレスレットなど、びっちょならではのセンスが随所に炸裂!

アメリカから来た? 謎多き女エージェント
「戦え!! ぴっちょりーな☆」スタイル
サバゲー界ナンバーワンキャラ降臨♪
最前線をキュートに駆ける戦う声優!



1. オールマイティー・プレイヤーであるびっちょにはインカムは欠かせない。2. タフでスタイリッシュなアルファのベルトが気に入る。3. 多くの仲間達(ファン)の思いを託したドックタグを携行。超イイ人でもある。4. 愛用のリストウォッチはプロ御用達のルミノックス。5. やはりというか、P90びっちょカスタムをバイオリンケースに収納するところは流石スバイである。

FIGHT!! PICCHOLINA

精密バイオBB弾ギャロップの公式イメージキャラクターやアルファインダストリーズの広告モデルもこなす戦う声優として数々のMCや声優業を行っている。飛ぶ鳥を落とす勢いのサバゲー界ナンバーワンキャラクター。

赤いベレー帽が戦うエリートを演出? 「P90びっちょカスタム」の色違い2バージョンでキメるところはもはや貫禄である。脇のトランクは移動時の必需品である愛用の一品。

うって変わってキュートな「見返りびっちょ」左手のバイオリンケースの中にはもちろんバイオリンではなくアレが収納されている。



QUESTION

- Q1:** 貴女がサバゲーにハマったきっかけは何ですか?
アメリカのNSA捜査官である私は日本にスパイとして潜伏中であり、銃の訓練代わりにサバゲーを利用したことがきっかけです。
- Q2:** 貴女が得意とするポジション(アタッカー、ディフェンダー、スナイパー)仕事の仕事なのでオールマイティーに対応できるよう訓練しています。
- Q3:** 憧れのGunヒロイン(映画・アニメなど)はいますか
英才教育のためテレビや映画はまず観ませんでした。強いて言うならジャック・パウアーやイーサン・ハントです。ヒロインではないですが……。
- Q4:** 女性ならではのサバゲー時の必需品は何ですか?
USPコンパクト一択ですね。大統領!!!!
- Q5:** 貴女がサバゲー男子に求めるものは?
肉壁……ですかね。「アタシの防護壁になって」的な。
- Q6:** 読者の方へメッセージをお願いします
週の半分はアメリカNSAにいる私ですが土日だけ日本に戻ってサバゲーイベントにゲスト出演しています。日本での私の詳しい情報はTwitter、Facebook、Instagram、アメブロ、YouTubeを確認して下さい。

サバゲGIRLS 装備図鑑